

第 2 号様式の 3

令和 7 年度第 1 回法務省総合評価委員会審議概要

開催日時及び場所	令和 7 年 7 月 1 4 日（月） 1 5 : 2 0 ~ 1 5 : 5 0 法務省共用会議室 3（大臣官房施設課旧入札室）	
委 員	只 木 誠（大学教授）※委員長 黒 澤 正 明（公益社団法人監事） 遠 藤 和 義（大学教授）	
審 議 対 象 期 間	令和 6 年 1 2 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日まで	
【 工 事 】		（備考）
抽 出 対 象 案 件	総件数 1 件	
類 技術提案評価型		
類 S 型	0 件	
類 施工能力評価型		
型 I 型	0 件	
型 施工能力評価型		
II 型（一般タイプ）	1 件	
施工能力評価		
II 型（小規模タイプ）	0 件	
【 業 務 】		（備考）
抽 出 対 象 案 件	総件数 0 件	
類 標 準	0 件	
型 簡 易	0 件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見 具申又は勧告の内容	具申又は勧告	回 答
	なし	なし

別 紙

意 見 ・ 質 問	回 答
1 総合評価落札方式の実施状況について 意見・質問なし 2 抽出案件の審議 令和6年度東京拘置所屋外衛生設備工 事 総合評価落札方式の趣旨を踏まえると、今回の案件のように予定価格を下回る者が1者である場合や、そもそも入札参加者が1者のみである場合には、総合評価落札方式が十分に機能するような状況にないと思われる。入札制度として有効に機能するよう対応を考えていく必要がある。 総合評価の評価項目である企業の技術力及び配置予定技術者の能力において設定している「より高い同種性又は類似性」について、現状での設定が施工品質の向上につながっているのか疑問がある。今後は、これら以外の評価項目も設定できればよいと思う。	御指摘のような状況であることで、発注機関としても手続に際して苦慮している。総合評価制度は必ずしも価格面での優位性を生かした競争を排除していないので、本件のような結果もありうる。引き続き、総合評価制度の運用について発注機関として可能な努力をしていきたい。 承知した。